

安全データシート

改訂日 2019 年 9 月 26 日

製品名 Nutri DG FW ロング

1. 製品及び会社情報

対象物の名称

製品名	Nutri DG FW ロング
米国製品名	Andersons NutriDG Dispersing Granule Technology 20-0-16
米国製品コード	APPJ202WDG40
肥料登録番号	輸第 100927 号
肥料登録名称	APPJ202WDG40-2
社内 SDS 整理番号	201909-i
製造元	
会社名	The Andersons Lawn Products
住所	PO Box 119 Maumee, Ohio, USA 43537
電話番号	+1(0)-419-893-5050
輸入元	
会社名	東洋グリーン株式会社
住所	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-33-8
電話番号	03-3249-7731
担当	毒物劇物取扱者

用途

本製品は、主に芝生地に用いられる粒状肥料である。

2. 危険有害性の要約

ピクトグラム



注意喚起語

警告

危険有害性

H315 皮膚刺激
H319 眼刺激区分 2 皮膚刺激
区分 2A 強い眼刺激

注意書き

P264
P302 + P352
P332 + P313
P362
P280
P305 + P351 + P338取扱い後、手をよく洗うこと。
皮膚についた場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用

P337 + P313

していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

GHS による危険性・有害性の分類

① 危険性（16 分類）

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	区分外
自己反応性化学品	区分外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	区分外
有機過氧化物	区分外
金属腐食性物質	区分外

② 有害性（10 分類）

急性毒性：経口	分類できない	
急性毒性：経皮	分類できない	
急性毒性：吸入（気体）	分類できない	
急性毒性：吸入（蒸気）	分類できない	
急性毒性：吸入（粉塵）	分類できない	
急性毒性：吸入（ミスト）	分類できない	
皮膚腐食性・刺激性	区分 2	皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2A	強い眼刺激
呼吸器感作性と皮膚感作性	分類できない	
生殖細胞変異原性	分類できない	
発がん性	分類できない	
生殖毒性	分類できない	
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	分類できない	
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	分類できない	
吸引性呼吸器有害性	分類できない	

③ 環境に対する有害性（2 分類）

水生環境急性有害性（急性）	分類できない
水生環境急性有害性（長期）	分類できない

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区分

混合物

成分名

CAS 番号

含有量

尿素

メチレン尿素混合物

45-55%

硫酸加里

7778-80-5

25-35%

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し安静に努める。刺激が残る場合には医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	石鹸と水を用いて洗浄する。刺激が残る場合には医師の診断を受ける。薬液の付着した衣服は再使用の前に洗うこと。
眼に入った場合	清浄な流水で数分間注意深く洗うこと。症状が続く場合、眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐ。医師の診断があるまで無理に吐かせようとしないこと。刺激が残る場合には医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末、泡、二酸化炭素、霧状水等周囲の物に適正な消火剤を用いる。特殊な消火剤は必要としない。
使ってはならない消火剤	棒状水を用いない。（周辺への飛散）
火災時の特定危険有害性	酸化物、硫化物、アンモニア等、分解生成物は有害であると考えられる。
特定の消火方法	漏出した物質や消火剤等が河川等に排出されないように配慮する。消火活動は風上から行う。
消火を行う者の保護	消火作業では適切な保護具（陽圧式呼吸具、手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	「8. 暴露防止及び保護措置」記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
環境に対する注意事項	河川、湖沼、地下水等に流入しないようにする。流入する場合には、関係当局に連絡する。
除去方法	漏出物を容器に入れ、目的通り使用する。または、法令に従い処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	「8. 暴露防止及び保護措置」記載の設備対策を行い、保護具を着用する。作業は換気の良い場所で行う。
安全取扱注意事項	吸い込んだり、眼や皮膚、衣服に触れないよう十分注意する。マスク、保護衣、保護靴、保護手袋、保護眼鏡等を着用する。作業後は手を洗うこと。作業場での飲食、喫煙を避ける。
保管	
適切な保管条件	換気の良い室内の冷暗所に保管する。混合を避ける物質を遠ざける。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度	
日本産業衛生学会	設定されていない
厚生労働省告示	設定されていない
暴露限界	製品については既知の暴露限界はない。
曝露防止	換気の良い場所で取り扱う。室内で作業する場合は換気に努める。
保護具	
呼吸器の保護具	必要に応じてマスクを着用する
眼の保護具	保護眼鏡（ゴーグル型）、保護面
皮膚及び身体の保護具	長袖保護衣、保護手袋、保護眼鏡を着用。
適切な衛生対策	取り扱い後は手を良く洗う。汚染した衣服は他のものと別に洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	粒状
色	いくつかの色の混合
臭い	わずかなアンモニア臭

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点	適用されない
融点/凝固点	データなし
可燃性	不燃性
爆発限界	上限：設定されていない 下限：設定されていない
引火点	データなし
自然発火点	適用されない
分解温度	データなし

pH

データなし

動粘性率

適用されない

溶解度

水に対する溶解性	可溶
溶媒に対する溶解性	データなし

n-オクタノール/水分分配係数

データなし

蒸気圧

適用されない

比重0.857g/cm³**相対ガス密度**

適用されない

粒子特性度

データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の使用条件、輸送条件で安定
避けるべき条件	高温、粉塵を避ける。強酸、酸化剤との混合を避ける
危険有害分解生成物	有害酸化物、硫化物、アンモニア
他の物質との重合	データなし

11. 有害性情報

本製品は、眼・皮膚に刺激をもたらすおそれがある。気道を刺激し、咳や息切れ、喉の痛みを引き起こすおそれがある。目に涙、赤目を起こすおそれがある。摂取すると、喉の痛み、腹痛、吐き気、下痢などを起こすおそれがある。

急性毒性推定値 (ATE)	成分 (経口)	3200mg/kg (硫酸加里) 14300mg/kg (尿素)
	製剤 (経口)	データなし
	成分 (経皮)	データなし
	製剤 (経皮)	データなし
局所効果	眼刺激性	データなし
	皮膚刺激性	データなし
		データなし
感作性		データなし
慢性毒性 (最大無作用量)		データなし
発ガン性		原料から区分外と推定される。
変異原性		データなし
催奇形性		データなし
生殖毒性		データなし
特定標的臓器毒性	単回暴露	データなし
特定標的臓器毒性	反復暴露	データなし

1 2. 環境影響情報

本製品は長期的に分解するが、その過程での生成物の環境有害性、生体濃縮の可能性は知られていない。水系に大量に流入すると富栄養化によって水生生物に有害な藻類の発生の可能性がある。

1 3. 廃棄上の注意

廃棄の方法

残余廃棄物

廃棄はなるべく避け、肥料として使用する。
廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体に委託して処理する。

包装

関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連分類

該当しない

国連番号

該当しない

国際海上危険物規程

該当しない (IMDG)

国際民間航空機関危険物輸送規則

該当しない (ICAO)

米国 SARA311/312 規制

該当する 10000 ポンド以上保管時に SDS 提出

国内規制

航空・海上輸送、陸上輸送に制限はない

航空法規則

該当しない

危険物船舶運送及び貯蔵規則

該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

転倒、落下、摩擦等で包装が破損しないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行い、有蓋車又はシート等を掛けて運搬する。水濡れを避ける。

1 5. 適用法令

肥料取締法

該当する

輸第 100927 号 化成肥料

労働安全衛生法

該当しない

毒物および劇物取締法

該当しない

化学物質排出把握管理促進法

指定化学物質に該当しない

航空法規則

該当しない

危険物船舶運送及び貯蔵規則

該当しない

輸出貿易管理令（キャッチオール規制）

該当する

第 6 部第 31 類肥料

1 6. その他の情報

安全データシートは、化学製品を安全に取り扱うための参考資料として、化学製品を取り扱う事業者を提供されるものであり、安全を保障するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報および自社情報に基づいて作成しておりますが、本製品に関するすべての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は本製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、本製品を取り扱う事業者は、個々の取扱いの実情に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されることをお願い致します。

以上